

令和6年5月1日（水）

担当：福島県 保健福祉部 感染症対策課

副課長 橋本 隆子 024-521-8655 内線 3074

つつが虫病の患者発生届出に伴う注意喚起

春季に入り、今年第1例目のつつが虫病の発生報告がありましたのでお知らせします。

本県は、全国的にも、つつが虫病の多発地域で、例年20名程度の患者が報告されています。

山林や草むら、農耕地等に入る機会が多くなる、春季（3～6月）と秋季（9～11月）が患者発生のパークになります。県内の様々な地域で患者の報告がありますので、下記の予防方法による注意が必要です。

記

地域	年代	性別	現状
県北保健所管内の医療機関	10代	女性	軽快

【参考】

1 つつが虫病とは

病原微生物を保有するツツガムシ（ダニの一種）に刺された後、1～2週間後に発症する感染症です。人から人へは感染しません。ツツガムシは、草むらなどに生息しており、肉眼ではほとんど見えないほど小さいため、衣類の隙間から入り込むことがあります。

また、刺された時の痛みもほとんどないと言われています。

2 症状・治療

主な症状として、「発熱」、「発疹」、「刺し口（刺された部位がカサブタに変化）」、「頭痛」、「倦怠感」、「肝機能障害」などがあります。典型的な症例では39℃以上の高熱を伴って発症します。抗菌薬の投与による治療を行います。治療が遅れると重症化や、最悪の場合死に至ることもあるため、早期診断・早期治療が重要です。

屋外での活動後はダニに刺されていないか確認し、刺されていた場合や症状が現れ場合には、速やかに医療機関（内科、皮膚科など）を受診しましょう。

3 予防方法

- 山林や草むら、農耕地などに入る際は、長袖・長ズボン・長靴等を着用するなど、肌の露出をできるだけ少なくしましょう。
- 効果が認められる虫除けスプレー（対象に「ツツガムシ」が記載されている製品）もあります。効果の持続時間が限られるため、こまめにスプレーしましょう。
- 野外作業後は、速やかに入浴、着替えをし、皮膚に付着したツツガムシを洗い落としましょう。

4 過去の県内の発生状況（令和6年5月1日時点）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
R6	0	0	0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
R5	0	0	0	3	2	0	0	0	0	1	9	2	17
R4	1	0	0	2	2	0	0	0	0	0	16	4	25
R3	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	11	2	17